

「鹿児島情報高等学校の玉利の鎌手踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校
2. 学年・人数	1・2・3年（15名）
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年5月～1月 毎週水曜日5・6時間目 鹿児島情報高校柔道場</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年 7月 8日 地域のデイサービス施設（リハコート慈遊館）</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能，伝統 行事，伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 鹿児島市指定郷土芸能 玉利の鎌手踊り（たまりのかまんでおどり）</p> <p>(2) 由来 今から約240年前に，豊作祈願と無病息災を祈念し伝承されてきた。</p> <p>(3) 構成等 「鎌」6人と「棒」6人で踊り手は構成される。歌い手の歌に合わせて，鎌と棒で激しく打ち合う。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>学校と地域が連携・協力しながら玉利の鎌手踊りを継承していくため，授業中に継承活動および発表を行っている。</p> <p>放課後ではなく授業中に活動することで，部活動に所属している生徒も参加可能となり，人数を確保しやすい。また，教員の勤務時間内（授業中）に活動を行うため，無理なく伝承活動ができる。</p> <p>さらに，先輩が後輩を指導する体制を取ることで，学校内の指導者が転勤や異動となった場合でも，持続可能な継承活動を行える体制を整えている。</p>
6. 取組の様子 （練習状況，発 表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">地域の施設で披露</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で踊りを披露し，見ている人に喜んでもらえたことが印象に残った ・ 踊りに込められた意味や背景を学び，自分たちもその思いを受け継いでいると実感できた ・ 郷土芸能が途絶えてしまうのは惜しいと感じ，少しでも周囲や次の世代へつないでいきたいという気持ちが生まれた